

デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

			担当課名	総務企画課	事業No.	6
事業名	藍住町情報発信DX化事業【デジタル実装タイプ】					
目的	行政・教育・防災が連携した情報配信システムを構築し、発信力の強化及び情報発信の多重化、広報・教育現場のDX化を同時に図ることで、情報がより住民に伝わる環境を整備する。					
実施内容	情報発信DX化として、次のシステムを導入した。 ①住民向け情報配信 システム名「すぐメールplus+」 ・行政・防災情報を電子メール及びLINEで一斉配信を行う。 また、導入に併せて、藍住町公式LINEアカウントを開設した。 ②教育機関向け情報配信 システム名「すぐる」 ・町内の教育機関（幼稚園・学校等）と保護者間の連絡をアプリ等で行う。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		2023	2024	2025	
	住民の登録数(全情報配信サービスの登録者の累計数)	目標	9,000	10,000	12,000	
		実績	9,017			
	住民の登録数(住民向け情報配信サービス)	目標	6,500	7,500	9,000	
		実績	7,754			
	配信数の増加率(教育機関向け情報配信サービス)	目標	10%	30%	40%	
		実績	未計測			
	各情報配信サービスの満足度(総合)	目標	3.0	3.5	4.0	
		実績	未計測			
	住民向け情報配信サービスの満足度	目標	3.0	3.5	4.0	
		実績	未計測			
	教育機関向け情報配信サービスの満足度	目標	3.5	4.0	4.2	
実績		未計測				
達成度	Ⓐ：達成 B：概ね達成 C：未達成					

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2023年度	計画額	実績額	交付金充当額	備 考
事業費	3,000,000	1,622,345	811,172	事業費の1/2

【2023年度の取組と課題】

- ①住民向け情報配信
- 【取組】・2023年12月にシステムの構築を完了し、2024年2月から運用（配信）を開始した。
- ・2024年3月に周知用チラシの全戸配布を行った。
- 【課題】・2023年度内の運用期間があまりに短く、アンケート調査の実施ができなかった。
- ②教育機関向け情報配信
- 【取組】・2023年12月にシステムの構築を完了し、2024年1月に各施設に操作説明会を行い、準備作業を依頼した（2024年4月以降に運用を開始している）。
- 【課題】・運用開始が2024年4月となったため、利用者へのアンケート調査ができなかった。

【今後の取組】

- ①住民向け情報配信
- 【取組】・登録者増加（特に町公式LINE）に向けた周知活動を行う。
- ・運用方法の見直しを行い、改善を検討する。
- ②教育機関向け情報配信
- 【取組】・各施設の活用方法等を共有し、既存の紙ベースでの連絡手段からの置換えを進める。

※藍住町地方創生推進会議の意見

・サービスの登録者数は、立上げ時に関係者が一斉に登録したりするのである程度まとまった数字になると思うが、藍住町と同規模の自治体の事例を比較して、将来的にはどこまでの数字を目指すか示していただきたい。